

会 議 録

会議の名称	平成27年度第4回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成27年9月16日（水）午後7時00分～9時00分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	本間雄一委員、武田秀規委員、田尻 円委員、 長ヶ原美博委員、千葉純平委員、関口敬氏委員、 吉田廣子委員、搦木道代委員 事務局（主査）
欠席者	岩村沢也委員、小森重紀委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	1. 協議事項 （1）社会教育委員に関するオリエンテーション （2）前期報告書についての説明 （3）今後の社会教育委員会議の進め方について 2. 報告及び連絡事項 （1）平成27年度西部地区人権教育実践報告会 （2）入間地区社会教育協議会第3回社会教育委員部会 （3）平成27年度入間地区市町社会教育委員研修会 （4）第39回人権を考える集い
会議資料	定期刊行物
会議録確認	本間雄一委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

○議長あいさつ

1. 協議事項

(1) 社会教育委員に関するオリエンテーション

【事務局】

先日、議長、副議長を招いて今期の社会教育委員会議の進め方について話し合いを行った。前回会議で家庭教育に関するテーマを提案させていただいたが、改めて社会教育委員の役割を見直してからテーマを考えようという結論に至った。

教育委員会としては社会教育委員皆さんがテーマを決めて、それに沿って調査、研究、まとめをしていただければ良いと考えている。

本日はオリエンテーションという事で、配布した資料を読み、社会教育の意味や社会教育委員の役割について再確認したい。

※配布した資料を出席者全員で音読した。

【事務局】

今期は研究テーマを決める前に、本日配布した資料を確認したり、10月8日に入間地区社会教育協議会の「実践する社会教育委員を目指して！」という研修が行われるので、このような研修にも参加しつつ社会教育委員の役割について再確認を行いたい。

【議長】

説明があったように10月8日の研修会では社会教育委員の役割がテーマなので、私も参加して学びを深めたいと思う。当初は家庭教育というテーマ案も出たが2年間の任期があるのでみんなで話し合いながら決めていきたいと思う。

(2) 前期報告書についての説明

【事務局】

前回の会議の時に配布した「親の学びや育ちを応援する学習機会の充実方策」について、報告書には親の学びや育ちを手助けするための講座等の様々なアイデアを出していただいた。

以前はこの提案として出したアイデアを具体的に検証してみようという話もあったが、先ほど話した通り、改めて社会教育委員の役割を確認して、テーマを考えたらどうかと提案する。よって今期は前期報告書の流れになるか、まったく違うテーマになるかは会議の中で話し合っていくことを確認したい。

【委員】

今年の6月に子どもが生まれた。前期報告書ではウェブサイトを活用して、どのように子育て支援が出来るかを書いた。前期はあまり会議に参加できなくて皆さんにご迷惑おかけしたが今期もよろしくお願ひしたい。

(3) 今後の社会教育委員会議の進め方について

【事務局】

2年間の任期があるので、最初に社会教育委員の役割を確認したいと思うが、その中でどのような議論がなされたのか、どのような研究がなされたのかも、第30期の報告書に盛り込んで、それプラスもうひとつテーマを見つけて報告書に盛り込んでもらいたい。

もしくは、テーマをひとつに絞るのではなく2、3つのテーマに取り組むとか、小委員会を作って協議を行ったり自由に進めていただく方法でも良い。

【委員】

学校現場からとして、子どもを取り巻く環境や課題などをお話しする事はできるので、それを皆さんでアレンジしながらテーマを決めていければ良いと思う。

【委員】

社会教育という範囲が広くなりすぎるので、1人の親として、子どもの事、学校の事、地域の事について考えていけば焦点を絞りやすいと思っている。

【委員】

学校では禁止されていないが好ましいと思えないような遊び、例えばカードを取引するような遊びがあるが、そのような遊びの現場に実際に見てみるのも良いと思う。

【委員】

今日改めて社会教育委員の役割について学んだが範囲が広いと思った。それぞれの委員さんは当て職で出席している方が多いが、それに捉われずに意見を自由に出す場を2、3回作っていけばその中で課題が出てくると思う。また、それぞれの課題も報告書にまとめていければ良いと思う。

【委員】

委員それぞれの出身母体に立ち返って課題を探るのは良いと思う。子どもが大きくなったので、今は母親とは違う立場で学校へ読み聞かせに行っている。大阪の事件のように子どもが深夜に徘徊することが多くなっているように感じる。塾に通っているのか、遊び歩いているのか他人には分からないので大人も中々注意ができない。各委員が家庭や地域、各団体での課題を持ち寄ってテーマを決められれば良い。

【委員】

子どもが生後3か月という事と10年前は中学生だったので、子ども目線からも意見が言えれば良いし、子育て世代としても意見が言えれば良いと思う。学生時代に地元の小学生を面倒見る「おむすび少年団」というボランティアの代表をしていた。その時に父子家庭の子どもがいた。「おむすび少年団」で遊んで帰りに送ったら父親に「勝手に遊ばせるな」と怒鳴られた。その時、子どもの遊びたい気持ちを分かってもらいたいと感じた。子どもがのびのびと遊べる家庭環境をつくりたいという気持ちで今回

関わっている。

【委員】

すごく良いと思う。そういう時に寄り添ってあげるという経験が子どもにとっては大事だと思う。

【委員】

結局、その子は引っ越ししてしまったがたまに連絡をくれて、元気そうなので良かったと思っている。

【副議長】

みなさんのお話を聞いていて、子どもや家庭の事に関心が高いのかなと思った。

前回、教育長から貧困率の話があった。であれば何をもって貧困というか、市内の貧困率を調べてみないといけないとも思った。

前期の時に近隣の市町の家庭教育学級の取り組みの状況を調べてもらったが、例えば視察に行くのも良い。

また、教育委員の人と会う機会がないので、教育委員会内部でどのような話し合いがなされているのかを聞いてみるのも良いと思った。

今後、協議していく中で各委員がどのような事を考えているのか2、3行でも良いので活字にして提出してくれると議論が深まると思う。

最初から方向性を絞らないにしても、何回かはこのような意見を出し合ったり、研修や視察に行っても良いと思う。

【議長】

今期は、もっと実践的であったり、視察を取り入れるとか、有意義な会議にしていければ良いと思う。

10月8日は社会教育委員の役割についての研修会がありますので、可能な方はそちらに参加していただき、今後の会議で意見交換ができれば良いと思う。

2. 報告及び連絡事項

(1) 平成27年度西部地区人権教育実践報告会（7月24日開催）

【委員】

人権作文が今回は似たようなものが多かった。分科会は外国人の人権だったが、子どもが学校で貰ってきたプリントを親が読めないという事例があった。その親も困っている事を言い出せない状態で、そういった家庭が全国的に広がっているという事を知った。そんな親に日本語を学んでもらうという動きもあるが、私たちもその人たちの母国語を学びお互いに歩み寄る事が大切なんだと思った。

【委員】

外国人のお母さんが来た時に学校に雑巾を持っていく習慣が分からない。文化の違いなど教育委員会では課題としてあがっているがマニュアルがないという状況が多いらしい。日本の風習など個人ではサポート出来ない部分に関しては、教育委員会や国

もサポートが必要になるのではないかと思った。

(2) 入間地区社会教育協議会第3回社会教育委員部会（9月16日開催）

【委員】

主な協議内容は10月8日の市町村社会教育委員研修会の内容について行った。研修内容は社会教育委員の原点に立ち返って我々が今、何をしなければならないかを学ぶ。講師は東京国際大学副学長の遠藤克弥先生に基調提案をしてもらい、その後はグループに分かれてディスカッションを行い情報交換を行うので是非参加していただきたい。

【副議長】

テーマもそうだしグループディスカッションもそうだが各市町から出席しシャッフルしある程度フリーに話し合う予定。新しい人も多くそもそも社会教育委員とは何をすれば良いかという事を話し合う堅苦しくない場なので、是非参加してもらいたい。

(3) 平成27年度入間地区市町村社会教育委員研修会

【事務局】

公用車で行く予定なので一緒に行ける方はどうぞ。

(4) 「第39回人権を考える集い」

【事務局】

10月30日（金）午後2時から「コピスみよし」で行われます。

3. その他

10月会議日程

日程：平成27年10月29日（木）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

11月会議日程

日程：平成27年11月30日（月）午後7時～

場所：教育委員会 2階 会議室

4. 閉会

【副議長】

次回まで少し時間が空きますけど、皆様それぞれ意見を溜めてきていただき次回の会議の時に協議ができれば良いと思います。お疲れ様でした。

(閉会)